

リハビリテーション科に通院中又は通院歴のある方へ（臨床研究に関する情報）

本院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は北摂総合病院倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者様の人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 様骨遠位端骨折術後早期における手関節位置覚障害と生活満足度の関係

《共同研究の代表機関名・研究代表者》 北摂総合病院リハビリテーション科 遠近太郎

《研究の目的》 治療中に行なった測定結果などの診療記録をもとに、様骨遠位端骨折で手術を受けた方の関節位置覚と生活満足度に影響する因子を調査することを目的とします。本研究により、感覚と運動の関連を考慮したより効果的なリハビリテーションを構築することを目指します。

《研究期間》 2025年11月1日～2026年12月31日

《研究の方法》

●対象となる患者様

様骨遠位端骨折の患者様で、2015年4月1日から2025年9月30日までの間にプレートによる手術治療と本院でのリハビリテーション治療を受けた方

●研究に用いる情報の種類

情報：診断名、年齢、性別、手術側、DASH（質問紙）、関節位置覚、疼痛、握力、関節可動域 等

《情報の利用を開始する日》 2025年11月1日

《研究組織》

[研究代表者・責任者] 社会医療法人仙養会北摂総合病院 リハビリテーション科 遠近太郎

[分担研究者] 関西医科大学リハビリテーション学部 蓬萊谷耕士

社会医療法人仙養会北摂総合病院 リハビリテーション科 小栗山絵美

社会医療法人仙養会北摂総合病院 リハビリテーション科 田村裕子

社会医療法人仙養会北摂総合病院 リハビリテーション科 西本拓平

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者様の個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での診療情報等の取扱い》

お預かりした診療情報は、患者様の氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者様の不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は各研究機関の指針や規程等に基づき各研究機関の所定の委員会等に申請し、その審査と承認を得ています。

*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

本院における研究責任者および研究内容の問い合わせ担当者
社会医療法人仙養会 北摂総合病院 リハビリテーション科 遠近太郎
大阪府高槻市北柳川町 6-24
電話 072-696-2121 (代表)
研究責任者：リハビリテーション科 作業療法士 遠近太郎